

図 3.3.13 岩美海岸（浦富地区）の標高差分図（短期的分析）

※参考までに、地盤高変動量図の作成時に使用した等深線データを以下に示す。

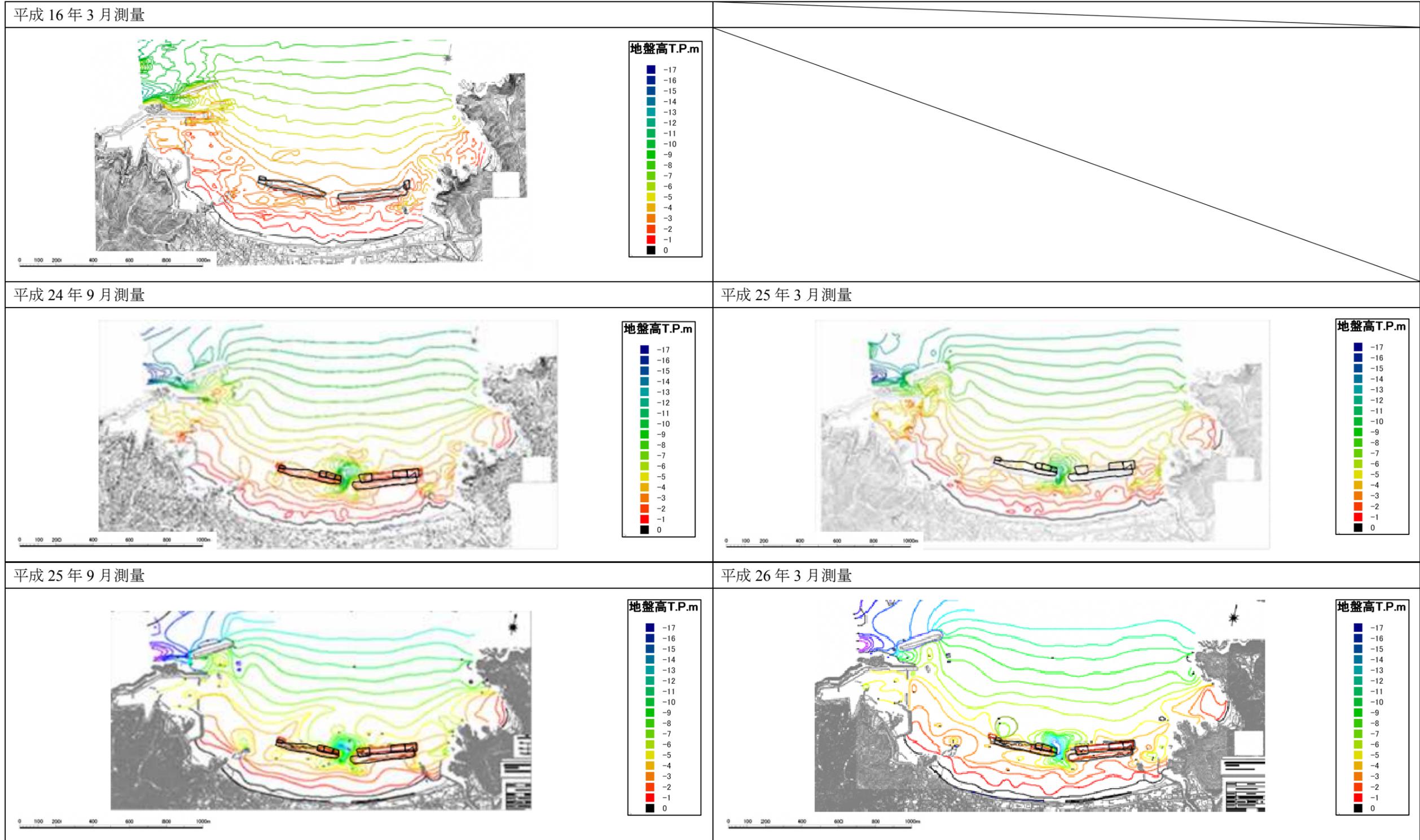


図 3.3.14 岩美海岸（浦富地区）の等深線図

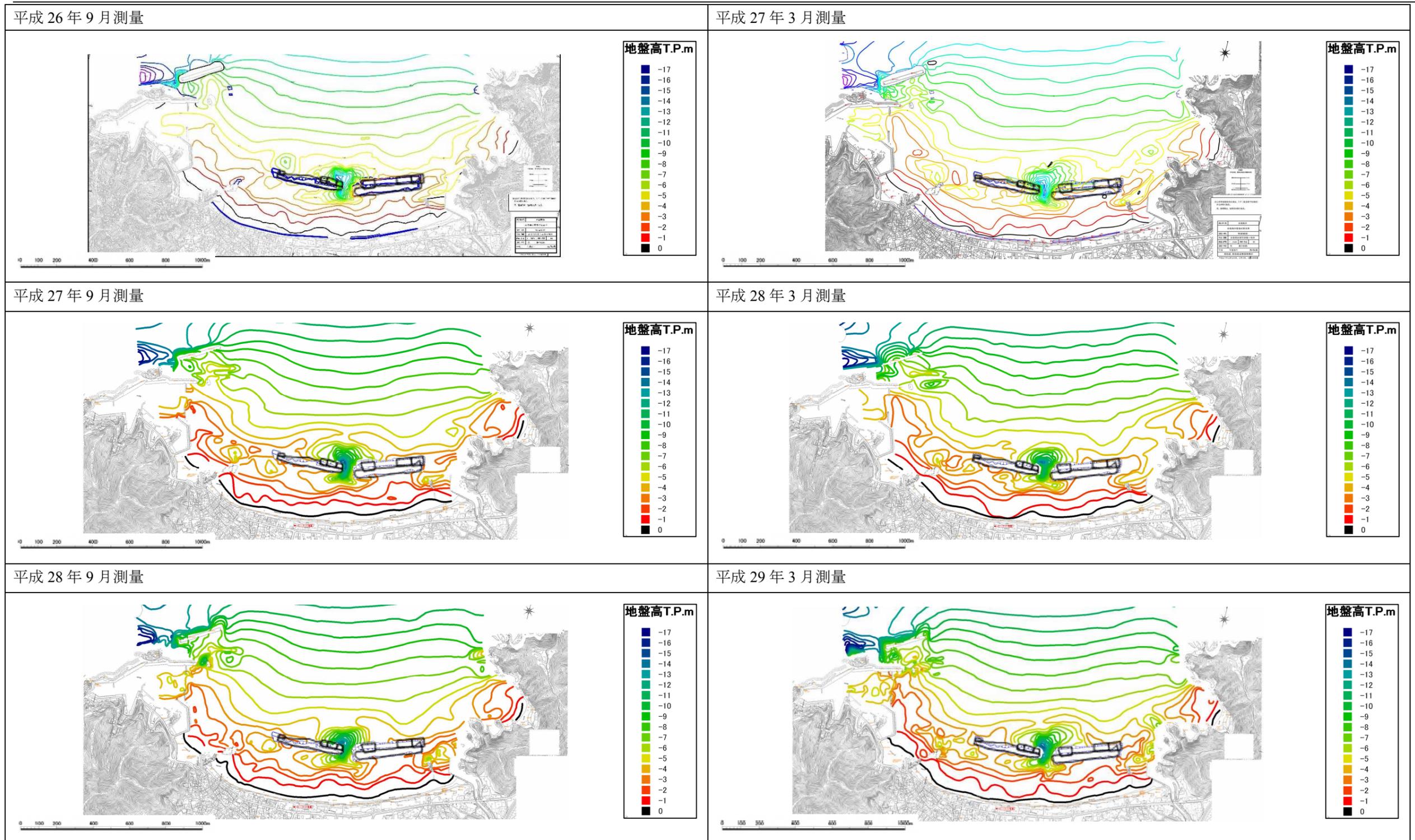


図 3.3.15 岩美海岸（浦富地区）の等深線図

### 3.3.4 浜幅分析

#### (1) 概要

当浜幅分析は、前述の分析が『ある年度の汀線を基準とした相対的な評価』に対し、『浜幅の絶対量を示しその変動を評価』するものである。

本分析では、浜幅の目安を『防護』『利用』から設定をしており、防護面については打上げ高計算より25m、利用面については海水浴利用の観点から40mに浜幅を設定し、評価を行っている。

#### (2) 分析結果

- No.18～No.23 については、漂砂向きからも堆積傾向にある箇所であり、概ね浜幅を維持している。
- 海水浴場として利用される箇所（No.24～No.29 付近）については、近年、利用基準だけでなく防護基準も下回っており、継続的な養浜が望まれる。
- 当海岸東側（No.33～）は季節毎に変動はあるものの、人工リーフの整備効果およびサンドリサイクル効果により、概ね防護面の浜幅25mを満足している。
- 直近（平成29年3月）においても、特に人工リーフ未整備箇所（No.24～No.29 付近）の背後で後退がみられるため、注視が必要である。

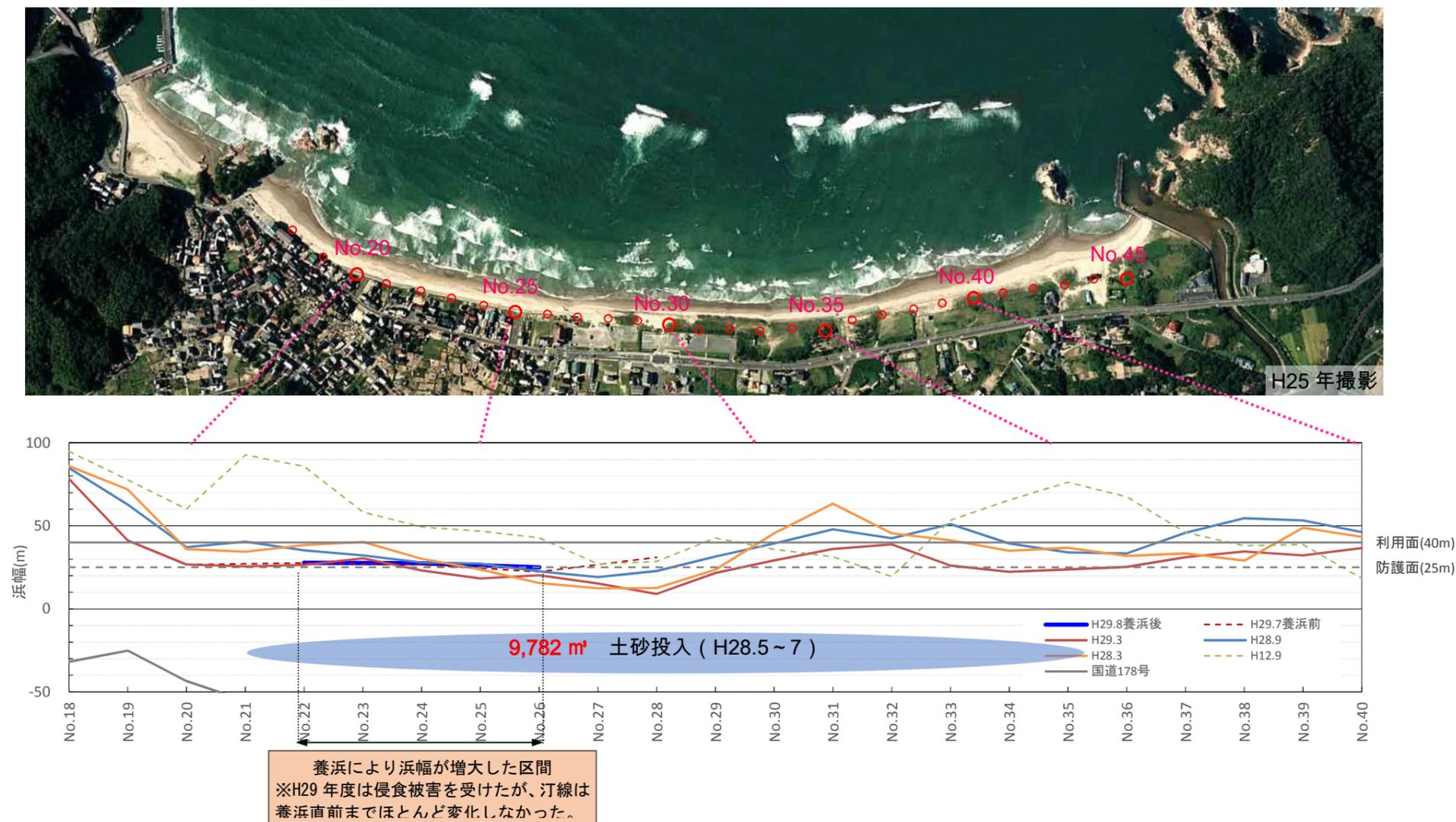


図 3.3.17 現況の浜幅（岩美海岸（浦富地区））



図 3.3.16 養浜後の侵食状況

### 3.4 問題点および今後の方針

- 未整備区間においては、人工リーフ完成まで、汀線浸食を受けやすい状況となっていることから、継続的にサンドリサイクルを実施していく。
- 昨年度策定した整備方針により、人工リーフの整備を進めていくとともに、進捗に応じた柔軟な対応をおこなっていく。

### 3.5 測線毎の汀線経年変化（参考資料）



図 3.5.1 測量基点の位置（岩美海岸（浦富地区））

表 3.5.1 岩美海岸（浦富地区）における汀線変化

年代		H12.3	H12.9	H18.9	H19.3	H19.9	H20.3	H20.9	H21.3	H21.9	H22.3	H22.9	H23.3	H23.9	H24.3	H24.9	H25.3	H25.9	H26.3	H26.9	H27.3	H28.9	H29.3	
汀線の経年変化	西側リーフ周辺																							
	東側リーフ周辺																							
採取場所別土砂投入量	年度																							
海岸保全施設の建設	建設	<p>人工リーフ建設</p>																						
備考	年度 月日 台風	<p>H18: 9/19 台風13号来襲 H19: 7/5 台風4号来襲 H19: 10/27 台風20号来襲(他3個) H21: 10/8 台風18号来襲 H22: 8/12 台風4号来襲 H22: 10/30 台風14号来襲(他1個) H23: 5/30 台風2号来襲(他1個) H23: 9/21 台風15号来襲(他1個) H24: 10/9 台風21号来襲 H25: 10/6 台風26号来襲(他5個) H26: 8/10 台風11号来襲 H26: 10/14 台風19号来襲(他1個) H28: 9/20 台風16号来襲(他1個)</p>																						